



<ひとこと>日本ハムの斉藤投手効果で、東葛地区がにわかになりに盛り上がりましたね。

柏市地域生活支援センター連絡調整会議

「就労」をテーマに



1月18日(火)柏市地域生活支援センター連絡調整会議が開催されました。この会議は、あいネットと行政が、相互理解の基に支援サービスを展開する事で、質の高い事業展開を目指す事を目的に、年2回開催されます。今回は「就労」をテーマにした集まりとなりました。

当日は市役所から福祉活動推進課、商工振興課、生活支援課、障害福祉課、民間からはかしわ地域若者サポートステーションに参加していただきました。

最初にあいネットから業務内容や実績について報告をしました。あいネットの相談実績では、支援の方法は来所よりも訪問件数の方が多いのが特徴です。また、相談内容としては、福祉サービスの相談、経済的問題の相談、傾聴が多いという傾向にあります。

次に商工振興課、かしわ地域若者サポートステーション、生活支援課、障害福祉課からそれぞれの就労支援の取り組みについての報告がありました。

〈商工振興課から〉

「柏市雇用に係る支援対策事業」の説明がありました。取り組みとしては、若者、フリーター、ニート、女性や中高年齢者等の就労を応援するために、就労者や求職者に対して講座やセミナーを実施しています。その他にも企業合同説明会の開催、合同説明会に参加した求職者を雇用した際には企業への奨励金の交付、ヘルパー養成講座等も開催しています。



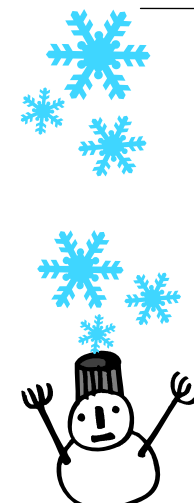
〈生活支援課から〉
就労相談員の話がありました。就労相談員は週1回生活支援課に派遣されています。対象は稼働年齢層で求職が見込まれる者です。本人の希望を踏まえ、求人情報の提供、履歴書記入や面接時のアドバイス、ハローワーク同行等を行います。就労支援の実績では、雇用環境の悪化等の問題もあり、就労をした方は非正規就労が多く、正規雇用就労は少ないという報告がありました。

〈障害福祉課から〉
H23年4月に設置される「柏市障害福祉就労支援センター」についての説明がありました。設置場所は柏市教育福祉会館1階及び2階の一部です。対象者は市内在住の身体・知的・障害・発達、高次脳機能障害の方。原則、障害者手帳を所持している方もしくは所持見込みの方です。

〈生活支援課から〉
就労相談員の話がありました。就労相談員は週1回生活支援課に派遣されています。対象は稼働年齢層で求職が見込まれる者です。本人の希望を踏まえ、求人情報の提供、履歴書記入や面接時のアドバイス、ハローワーク同行等を行います。就労支援の実績では、雇用環境の悪化等の問題もあり、就労をした方は非正規就労が多く、正規雇用就労は少ないという報告がありました。

〈障害福祉課から〉

H23年4月に設置される「柏市障害福祉就労支援センター」についての説明がありました。設置場所は柏市教育福祉会館1階及び2階の一部です。対象者は市内在住の身体・知的・障害・発達、高次脳機能障害の方。原則、障害者手帳を所持している方もしくは所持見込みの方です。



障害福祉就労支援センターの特色としては

- ①アセスメント結果を正確に出し、専門性の高い支援につなげる
- ②ケース会議の実施を市内就労支援機関と定期的実施することとした。

あいネットが直接的に就労のお手伝いをする機会が多くありませんが、相談者の中には就労を希望されている方もいらっしゃいます。今回の会議を通して、「就労」に向けたサービスが多くある事を知りました。相談者に対して適切な情報提供が出来るよう、今後も多くの情報を収集していこうと思えました。

1月15日開催。会場には、重症心身障害者の家族、支援機関など100名が参加していました。

シンポジストは、兵庫県伊丹市、西宮市で重症心身障害者の日中活動、短期入所、訪問看護、入所、地域活動拠点などに取り組まれている方々。地域参加を念頭に、重症心身障害者の方の支援への熱い思いを感じました。

大好きなこの街で暮らし続けるための重症児施設を目指そう！！



シンポジストが本人を中心としたネットワークの中で感じる「重心施設が設置されることでの変化」は①本人たちが24時間同じ場所に居続けることが無くなった②今の本人の輪の中に、様々な機関が参入し③本人とともに他の機関が育っていくことである、とのこと。シンポジストからは、施設や医療機関でなく『本人』を中心に置いた支援を展開していくことが重要との話がありました。

今後この東葛地区にも、重心施設が建設される予定で話し合いが進んでいます。施設が出来ることがゴールでなく、この地域で重症心身障害者の方とともに暮らすために必要なネットワークを築ききっかけとして、これからも動向に注目したいと思います。

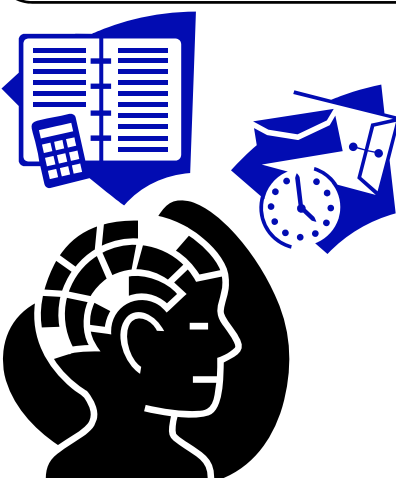
高次脳機能障害研修会



1月15日(土)に柏市主催の「高次脳機能障害研修会」が開催され、あいネットからも参加してきました。当日は、福祉関連の施設の方々や、学校の先生など色々な方が熱心に講師の渡邊修先生の話を聞かれました。

- ①左脳の場合、話す・聞く・読む・書く等の言語上の問題が出たり、歯磨きのやり方が分からなくなるといった行動ができなくなる、家族を見ても分からない等の問題がでます。
- ②右脳の場合は、いつも身体の同じ側をぶつける、階段の奥行が分からなくなる等の空間認識ができなくなる。よく知っている道で迷う。
- ③前頭葉の場合は、また日常生活や仕事の計画や実行ができなくなる。さらには、注意が続かなくなり、それわしたり気が散りやすくなる。怒りっぽくなったり、何もやる気が起きなかつたり感情面での障害もでてくるそうです。

特に感情面や注意面の障害は他の疾患と区別しにくいいため、別の疾患の治療を受けてしまい、高次脳機能障害としての適切な医療を長期間受けられなかったという事が少なからずあるそうです。相談員として適切な医療への繋ぎも重要な役割になります。できるだけ広い視野で相談者の方をみて適切な支援をしていきたいと思えます。



子育てひろば ういず



「ういず」の子育てひろばは「食育」をテーマにした乳幼児親子のひろばです。食育を通して、子どもに食べる喜びを知ってもらえたいがあります。また、子どもが苦手な野菜も美味しく食べやすく調理されているので、お母さんのレシピにも役立ちます。代表の北田さんは「食事を大切にすることは家族を大切にすることと同じ意味を持ちます」とおっしゃっていました。

ひろばに集まるお母さんとお子さんは、入園前の2歳児までの親子が中心です。月2回、金曜日11:00～13:00まで活動しています。活動内容としては、リトミック教室・体操・わらべ歌等、多岐に渡ります。各回ごとにその分野の専門の方がボランティアとしていらっしゃいます。お母さん、お子さん共に笑顔がたえず、とても居心地が良く自然とこちらにも笑顔がこぼれてしまうひと時を過ごさせていただきました。

ひろばの決まりは『みんなで一緒にお昼を食べる』こと。離乳食の持ち込みはOK。参加者もスタッフもボランティアも全員でお昼を食べます。お昼は生活クラブ生協千葉の安心・安全・美味しい食材を使った昔懐かしい和風の献立です。今日の献立は、キノコと竹輪のきんぴら・すいとんとかぼちゃの味噌汁・豆腐チャンプルー・里芋の黒ごまマヨあえでした。昼食ごとにレシピを配るので地域のお母さん必見です。

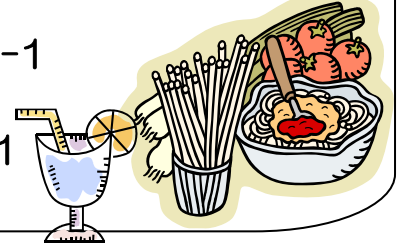
ういずのひろばはスタッフ・地域の方・ボランティア・専門家等、地域の個人や団体が参画して、支えられています。最後に、北田さんより「気軽にいらして下さい、美味しい食事を作って待ってます」とメッセージをいただきました(ちなみに現在、お父さんの利用の方はいませんが、いつでも大歓迎だそうです)

かしわ
柏うお～か～
あいネットが気になる街の事業所にお邪魔します。

問い合わせ先：ワーカーズコレクティブういず

住所：柏市松葉町3-15-1

TEL：04-7134-7201



おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707FAX:04-7165-8709)まで◇

| 講演名 | 日時 | 場所 | 費用 | 申込み | 問合せ先他 |
|---|---|---|---------------|---------------------------|--|
| 助け合い活動から～みんなの安心のために～ 講師:堀田きみさん ミニしんぶん「オーイ老い」発行人 | 2/25(金) 13:45 ～15:30 | アミュゼ柏市民プラザ (柏市柏6-2-22) JR常磐線/東武野田線 柏駅下車。東口より 徒歩7分。 | 200円 (資料代) | 必要 先着100名 | 主催:生涯現役ときわ会 後援:柏市・柏市社会福祉協議会 流山市・我孫子市等 問い合わせ・申し込み ・小島琢夫 T&F 04-7169-0166 Takuo-kojima@jcom.home.ne.jp |
| NPO支援財団研究会・千葉県シンポジウム～地域社会の活性化のために「民間助成金をどう活かすか」～ 講師:松原あきら氏 NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会副代表理事 | 2/26(土) 13:00 ～18:00 (12:30開場) | 千葉県ビジネス支援センター 会議室1・2・3 (千葉市中央区中央 4-5-1)きぼ一る13階 「千葉駅徒歩15分、京成千葉中央駅徒歩5分」 | 1000円 | 必要 先着100名 (※切2/23) | 主催:NPO支援財団研究会 NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 協力:千葉県 ちばNPO協議会等 問い合わせ:特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ TEL:043-303-1688 |
| 心の病を知る講演会 第10回記念シンポジウム～”助けて”といえる地域づくりに向けて「心の病の理解と地域における支援」 コーディネーター:永桶 静佳さん (柏市地域生活支援センターあいネット所長) | 2/26(土) 13:30 ～16:00 | 柏市教育福祉会館 (中央公民館)5階講堂 | 無料 | 当日、直接会場へお越し下さい。 先着180名 | 主催:柏市社会福祉協議会・精神障害者家族会よつば会 問い合わせ: 柏市社会福祉協議会 地域支援課 TEL:04-7165-0880 |